

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和4年1月4日～令和4年2月2日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
1	JIS	制定		地盤材料の溶出特性を求め るための上向流カラム通水 試験方法	Test method for leaching characteristics of geomaterials – Up-flow percolation test	この規格は、地盤材料から溶出する化学物質の溶出特性を求め るための上向流カラム通水試験方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1. 適用範囲 2. 引用規格 3. 用語及び定義 4. 試験方法の概要 5. 試薬 6. 装置及び器具 7. 試料の準備 8. 試験方法 9. 検液の分析 10. 報告		ISO 21268-3:2019, Soil quality – Leaching procedures for subsequent chemical and ecotoxicological testing of soil and soil-like materials – Part 3: Up-flow percolation test(MOD)	公益社団法人地盤工学会 一般財団法人日本規格協会
2	JIS	制定		固定ピストン式サンプラーに よる土試料の採取方法	Method for obtaining soil samples using fixed piston sampler	この規格は、軟らかい粘性土及び砂質土を対象とし、固定ピストン式 サンプラーを用いて乱れの少ない土試料を採取する方法について規定す る。	主な規定項目は、次のとおり。 1. 適用範囲 2. 引用規格・基準 3. 用語及び定義 4. 採取装置及び用具 5. 試料採取方法 6. 報告事項			公益社団法人地盤工学会 一般財団法人日本規格協会
3	JIS	制定		摩擦かくはん接合－アルミニ ウム－第1部：用語及び接合 接手の設計	Friction stir welding －Aluminium－ Part1:Vocabulary and design of weld joints	この規格は、アルミニウム及びアルミニウム合金に適用する摩擦かく はん(攪拌)接合の、用語及び接合継手の設計について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1. 適用範囲 2. 引用規格 3. 用語及び定義 4. 接合継手の設計	Z3608	ISO 25239-1 Friction stir welding – Aluminium –Part 1:Vocabulary ISO 25239-2 Friction stir welding – Aluminium –Part 2:Design of weld joints(MOD)	一般社団法人軽金属溶接協会 一般財団法人日本規格協会
4	JIS	制定		摩擦かくはん接合－アルミニ ウム－第2部：品質要求事 項、接合施工要領及び接合 要員	Friction stir welding – Aluminium – Part2:Quality requirements, welding procedures and welding personnel	この規格は、アルミニウム及びアルミニウム合金に適用する摩擦かく はん(攪拌)接合の、品質要求事項、FSW施工要領及びその適格性確認 並びに接合要員の技量適格性確認について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1. 適用範囲 2. 引用規格 3. 用語及び定義 4. 品質要求事項 5. FSW施工要領及びその適格性確認 6. 接合要員の技量適格性確認 附属書A(規定) 接合不完全部一試験及び検査方法並びに判定基準 附属書E(規定) 接合ユニットの機能及び操作に関する知識 附属書F(規定) 接合技術に関する知識	Z3608	ISO 25239-3 Friction stir welding – Aluminium –Part 3:Qualification of welding operators ISO 25239-4 Friction stir welding – Aluminium –Part 4:Specification and qualification of welding procedures ISO 25239-5 Friction stir welding – Aluminium –Part 5:Quality and inspection requirements(MOD)	一般社団法人軽金属溶接協会 一般財団法人日本規格協会
5	JIS	制定		医用画像部門における品質 維持の評価及び日常試験方 法－第3-6部：受入試験及び 不変性試験－乳房用トモン センシス操作モードに使用さ れる乳房用X線装置の画像 性能	Evaluation and routine testing in medical imaging departments –Part 3-6: Acceptance and constancy tests – Imaging performance of mammographic X- ray equipment used in a mammographic tomosynthesis mode of operation	この規格は、画質及び線量に関して、乳房用トモシンセシス操作モー ドで使用する乳房用X線装置の性能について規定する。 次の事項は、この規格の適用範囲から除外する。 -乳房用トモシンセシス以外の乳房用X線装置操作モード -トモシンセシス画像から合成した2D画像 -乳房用トモシンセシス以外の再構成断層撮影[法] -JIS Z 4752-3-5で包含されているCT装置 この規格は、次の事項を規定する。 a)画質及び線量に関する、乳房用X線装置の乳房用トモシンセシス操 作モードの許容基準を規定する基礎的なパラメータ b)それらのパラメータに関連する測定量が、規定した許容差に適合する かどうかを試験する方法 c)必要に応じて、不変性試験の頻度	主な規定項目は、次のとおり。 1. 適用範囲 2. 引用規格 3. 用語、定義、略語及び記号 4. 受入試験の一般的事項 5. 不変性試験の一般的事項 6. 乳房用トモシンセシス装置の試験の概要 7. 乳房用トモシンセシス装置の機器の一覧表の確認及び最初に行う試験 8. 位置合せ及びコリメーションの確認 9. 自動露出制御(AEC)システム 10. 受像器 11. 再構成画像の画質 12. 欠損組織 13. 再構成されたトモシンセシス画像のアーチファクト 14. 線量測定 附属書B(規定) 取るべき措置に関する指針		IEC 61223-3-6:2020, Evaluation and routine testing in medical imaging departments – Part 3-6: Acceptance and constancy tests – Imaging performance of mammographic X-ray equipment used in a mammographic tomosynthesis mode of operation(IDT)	一般社団法人日本画像医療シ テム工業会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和4年1月4日～令和4年2月2日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
6	JIS	改正	A1219	標準貫入試験方法	Method for standard penetration test	この規格は、SPTサンブラーを地盤内に動的貫入することによって地盤の硬軟、及び締まり具合の判定、並びに土層構成を把握するための試験を採取する試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1. 試験装置（附属書（規定）に記載しているSPTサンブラー形状を本文へ移行する。 2. 試験手順：国内での実情を踏まえた変更する。		ISO 22476-3:2005, Geotechnical investigation and testing—Field testing—Part 3: Standard penetration test ISO 22476-3:2011, Geotechnical investigation and testing—Field testing—Part 3: Standard penetration test AMENDMENT1 (MOD)	公益社団法人地盤工学会 一般財団法人日本規格協会
7	JIS	改正	A5905	繊維板	Fiberboards	この規格は、主に木材などの植物繊維を成形した繊維板について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・種類及び記号について、ホルムアルデヒド無添加製品に関する規定を追加する。 ・種類及び記号について、接着剤による区分をJIS A5908に合わせて耐水性による区分に変更する。 ・品質について、用途に応じた品質規定値を追加又は変更する。例えば、シージングボードを内装床下地へ使用する新用途に対し、吸水長さ膨張率の合理的な規定等。 ・表示について、受渡当事者間の協定による例外等を規定する。例えば、ホルムアルデヒド放散等級表示を行う建築下地用のMDFについては一製品ごとに区分の種類を表示する必要があるところ、構造を表して使用する要望を持つ顧客等に適用できる例外規定。		ISO 16895:2016, Wood-based panels—Dry-process fibreboard ISO 27769:2016, Wood-based panels—Wet-process fibreboard (MOD)	日本繊維板工業会 一般財団法人日本規格協会
8	JIS	改正	A5908	パーティクルボード	Particleboards	この規格は、木材などの小片を主な原料として接着剤を用いて成形・熟成した板（以下、パーティクルボードという。）について規定する。 この規格は、パーティクルボードを基材として両面に単板を張った単板張りパーティクルボード、両面又は片面に化粧紙等を接着した化粧パーティクルボード、及び構造用パーティクルボードについても規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・種類及び記号について、ホルムアルデヒド無添加製品に関する規定を追加する。 ・表示について、受渡当事者間の協定による例外等を規定する。例えば、ホルムアルデヒド放散等級表示を行う建築下地用製品については一製品ごとに区分の種類を表示する必要があるところ、構造を表して使用する要望を持つ顧客等に適用できる例外規定。		ISO 16893:2016, Wood-based panels—Particleboard ISO 16894:2009, Wood-based panels—Oriented strand board (OSB)—Definitions, classification and specifications (MOD)	日本繊維板工業会 一般財団法人日本規格協会
9	JIS	改正	B0262	管用テーパねじゲージ測定方法	Gauges for Taper pipe threads—Measuring method	この規格は、JIS B 0253に規定する管用テーパねじゲージの測定方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・引用規格：現状に合わせて見直す。 ・測定項目、測定箇所、測定要領及び測定用具：現状に合わせて見直す。			日本精密測定機器工業会 一般財団法人日本規格協会
10	JIS	改正	B8456-1	サービスロボット第1部：腰補助ロボット	service robots—Part 1: Lower-back support robots	この規格は、JIS B 8446-2に規定する低出力装着型身体アシストロボット（以下、ロボットという。）のうち、次の事項を満たすロボットについて規定する。 —ユーザの両大たい（腿）部にベルトなどで装着し、さらに、腰部、腹部、胸部、肩部その他にベルトなどで装着する。 —ユーザの入力に従ったアシストトルクをユーザの大たい（腿）部及び体幹に作用させる。 —ユーザの股関節及び／又は体幹を伸展する力、及び／又は屈曲を抑制する力をアシストする。 —ユーザの動作（運動補助、姿勢保持及び／又は物体操作）をアシストする。	主な改正点は、次のとおり。 ・TC299では、用語としてpersonal care robotoをservice robotに置き換えたため、規格名称を「サービスロボット—第1部：腰補助用ロボット」に改める。 ・ISO 8646-4の発行に合わせて、用語やその定義が一部修正されているため、それを反映する。 ・アシスト力指標において、アシスト制御の代表的な設定モード例（荷物保持動作、しゃがみ動作優先など）を提示し、そのモード毎にアシスト力を表記できるように追加、修正を行う。			一般社団法人日本ロボット工業会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和4年1月4日～令和4年2月2日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
11	JIS	改正	H2221	鋳物用マグネシウム合金地金	Magnesium alloy ingots for castings	この規格は、砂型鑄造、金型鑄造及び精密鑄造に用いるマグネシウム合金地金について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・我が国の合金の技術開発・市場の実態を反映するとともに、対応国際規格との整合を図るため、種類及び記号(簡条3)において、合金種の追加、種類及び記号を変更する。 ・同様に、品質(簡条4)において、外観に関する規定及び新合金種の化学成分の追加、種類及び記号の変更を行う。 ・分析試験(簡条7)において、新合金種の追加に伴い、試験方法として引用規格を追加する。		ISO 16220:2017, Magnesium and magnesium alloys – Magnesium alloy ingots and castings(MOD)	一般社団法人日本マグネシウム協会 一般財団法人日本規格協会
12	JIS	改正	H4100	アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材	Aluminium and aluminium alloy extruded profiles	この規格は、押出加工したアルミニウム及びアルミニウム合金の型材について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1. 適用範囲: 断面形状についての記載を追加 2. 引用基準: 2基準削除、2基準追加 3.1 型材: 型材定義へ管と棒との差異を追加 4. 合金番号: JIS独自の旧合金番号を削除して、対応国際規格に整合 5.3 機械的性質: 合金番号5083質別H112の引強さと耐力の下限値変更 5.6 応力腐食割れ: 項目を新規追加 6.1 断面寸法の許容差: 規定内容変更、図追加 6.2 断面形状の角度の許容差: 角度の対象明示と図追加 7.2 引張試験: 例の図追加 7.6 応力腐食割れ試験: 項目を新規追加		ISO 209:2007, Aluminium and aluminium alloys – Chemical composition ISO 6362-1:2012, Wrought aluminium and aluminium alloys – Extruded rods/bars, tubes and profiles – Part 1: Technical conditions for inspection and delivery ISO 6362-2:2014, Wrought aluminium and aluminium alloys – Extruded rods/bars, tubes and profiles – Part 2: Mechanical properties ISO 6362-4:2012, Wrought aluminium and aluminium alloys – Extruded rods/bars, tubes and profiles – Part 4: Profiles – Tolerances on shape and dimensions ISO 6362-7:2014, Wrought aluminium and aluminium alloys – Extruded rods/bars, tubes and profiles – Part 7: Chemical composition (MOD)	一般社団法人日本アルミニウム協会 一般財団法人日本規格協会
13	JIS	改正	H5203	マグネシウム合金鋳物	Magnesium alloy castings	この規格は、砂型鑄造、金型鑄造及び精密鑄造のマグネシウム合金鋳物について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・我が国の合金の技術開発・市場の実態を反映するとともに、対応国際規格との整合を図るため、種類及び記号(簡条3)において、合金種の追加、種類及び記号を変更する。 ・同様に、品質(簡条5)において、外観規定の変更、新合金種の化学成分の追加、並びに種類及び記号の変更を行う。 ・分析試験(簡条7)において、新合金種の追加に伴い、試験方法として引用規格を追加する。 ・検査(簡条8)において、市場の実態に整合させて、金型試験片鑄型及び砂型試験片鑄型を変更する。		ISO 16220:2017, Magnesium and magnesium alloys – Magnesium alloy ingots and castings(MOD)	一般社団法人日本マグネシウム協会 一般財団法人日本規格協会
14	JIS	改正	M8264	クロム鉱石—けい素定量方法	Chromium ores—Methods for determination of silicon content	この規格は、クロム鉱石中のけい素定量方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・高感度で迅速に分析が可能な方法を採用するため、簡条7として酸分解ICP発光分光分析法、簡条8としてアルカリ融解ICP発光分光分析法を追加する。		ISO 5997:1984, Chromium ores and concentrates— Determination of silicon content—Molecular absorption spectrometric method and gravimetric method(MOD)	日本フェロアロイ協会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和4年1月4日～令和4年2月2日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
15	JIS	改正	T8153	送気マスク	Supplied-air respirators	この規格は、工場、鉱山などの事業場、火災現場、船舶、トンネル[すい(隆)道]その他の場所において、酸素欠乏空気、粒子状物質、ガス、蒸気などを吸入することによって人体に有害のおそれがあるときに使用する送気マスクについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・種類及び形式において、複合式エアラインマスクは、この規格で規定するエアラインマスク及びJIS T 8155(空気呼吸器)で規定する空気呼吸器の機能の両方をもつものであるため、この規格の種類から削除する。この種の呼吸用保護具があることを注記に記載する。 ・面体の漏れ率において、「面体の漏れ率」を「漏れ率」に変更し、試験方法は、技術の実態に即して揺動形人体模型を用いた試験に改める。 ・吸気時の面体内圧及び通気抵抗において、技術の実態に即して呼吸模擬装置を用いる試験に改め、そのピーク値を規格値とする面体内圧の上限值及び下限値で規定する内容にする。 ・送風機及び一定流量形エアラインマスクの空気供給量において、技術の実態に即した試験方法に改め、JIS T 8154及びJIS T 8157で規定する大風量形の最低必要風量を参考にした規格値に改める。			公益社団法人日本保安用品協会 一般財団法人日本規格協会
16	JIS	改正	Z3043	ステンレスクラッド鋼溶接施工方法の確認試験方法	Method of Welding Procedure Qualification Test for Stainless - Clad Steel	この規格は、JIS G 3601(ステンレスクラッド鋼)に規定するステンレスクラッド鋼(肉盛クラッド鋼を除く。)の突合せ溶接を行う場合、あらかじめ、その溶接施工方法の適否を確認するための試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 (1) 試験材の溶接姿勢について、衝撃試験を行う場合は、実作業の溶接姿勢にしなければならないため、「試験材の溶接姿勢は、下向きとする。ただし、衝撃試験が要求される場合は、実作業の溶接姿勢とする。」に改める。なお、衝撃試験を要求される場合に、実作業の溶接姿勢で施工する必要のあるのは、溶接姿勢の違いにより、溶接入熱が変化し、それが溶接部の衝撃特性に大きな影響を及ぼすからである。 (2) 試験材の確認試験項目として、非破壊検査(表面割れの検出及び内部欠陥の検出)を追加する。 (3) 確認試験の区分として、JIS Z 3040(溶接施工方法の確認試験方法)との整合をとるため、「裏面からのガス保護」、「電源の種類区分」、及び「溶接入熱の区分」を追加する。また、溶接入熱の区分については、溶接入熱量の計算方法を明示する。 (4) 母材及び合せ材の区分表をJIS Z 3040の母材の区分表と整合した内容に改める。 (5) 溶接材料に関するJIS[例えば、JIS Z 3211(軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用被覆アーク溶接棒)等]の改正に伴い、溶接材料名称を全面的に改める。			一般社団法人日本高圧力技術協会 一般財団法人日本規格協会
17	JIS	改正	Z3805	チタン溶接技術検定における試験方法及び判定基準	Standard qualification test and acceptance requirements for welding technique of titanium	この規格は、チタン材の大気中でのティグ溶接及びミグ溶接を行う溶接技能者の技術検定における試験方法及び判定基準について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ①最近の技術実態を反映して改正されたJIS Z 3801、JIS Z 3821及びJIS Z 3841との整合を図るため、構成、様式、箇条の番号付け及び用語を変更する。 ②管の試験材料において、最近の市場の実態を反映するため、JIS H 4635(チタン及びチタン合金・溶接管)に規定する2種のチタン管を追加する。 ③試験に使用するガスにおいて、JIS Z 3253(溶接及び熱切断用シールドガス)に規定するHに適合するもの又はこれと同等と認められるものを使用することに変更する。 ④溶接上の注意(現行規格の4.7)を溶接条件(箇条12)に変更するとともに、規定内容を見直して板の溶接、管の溶接などに分割して規定し、溶接上の注意点を明確にする。 ⑤合否判定基準において、外観試験の評価基準を明確に規定するとともに、評価対象とする溶接不完全部の一列を追加する。	①最近の技術実態を反映して改正されたJIS Z 3801、JIS Z 3821及びJIS Z 3841との整合を図るため、構成、様式、箇条の番号付け及び用語を変更する。		一般社団法人日本溶接協会 一般財団法人日本規格協会
18	JIS	改正	Z6015	電子文書管理用語	Electronic document management - Vocabulary	この規格は、主として電子文書管理分野で用いる、入力技術、管理技術及びストレージ技術に関わる一般的な用語の定義について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 a) 対応国際規格に合わせるため、「文書情報マネジメント用語」から「電子文書管理用語」に規格の名称を変更する。 b) 三つの分類(管理基準、運用基準及び技術基準)で定義された現行規格に対して、対応国際規格の構成と一致に用語を定義する。 c) 現行規格の用語のうち、対応国際規格の定義に合わない用語(計67個)を不採用とする。 d) 現行規格の制定後、電子文書管理の分野で汎用的に使用されるようになった70個の用語を追加する。		ISO 12651-1:2012, Electronic document management - Vocabulary - Part 1: Electronic document imaging(MOD)	公益社団法人日本文書情報マネジメント協会 一般財団法人日本規格協会